

学友の力を母国に還元 「教育プログラム」開催

8月26日、マレーシア米山学友会の主催で、第1回「MRYA（マレーシア米山学友会）教育プログラム」がオンラインで開催されました。このプログラムは、同学友会会員の個々の知識や技術を社会に還元していくこと、受講者に社会貢献への意識を高めてもらうことを目的としています。今回は「日本語をボランティアで教える人材育成」をテーマに、日本の総合商社で18年勤務し、10年以上にわたってマレーシアの学生に日本語をボランティアで教えている、経験豊富なチンワエンサンさん（1994-96/東京国分寺RC）が講師を担当。参加した20人の受講者に向けて、「どのように学生の興味を惹くか」「どのように学習意欲講師を担当。参加した20人の受講者に向けて、「どのように学生の興味を惹くか」「どのように学習意欲を引き出すか」「どのようにリーディングやスピーキングの技術を習得させるか」など、日本語を教えるために必要な基礎スキルについて約1時間半の講義を行いました。マレーシアの中学・高校には日本語クラブが多数存在しており、同学友会では、「日本語学習や日本文化への興味関心が強い学生たちの力になりたい」という思いで精力的に活動を行っています。

■地区青少年交換帰国学生報告会 2023-9-6（水）12:30～13:30 於：ラグナガーデンホテル



週報

世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

ゴードン R. マッキナリー
2023-24 年度 国際ロータリー会長

第2888号

令和5年
9月12日
2023年
SEP

第3013回例会報告 例会記録・予定

■出席報告

会 員 数	65名
出 席 免 除 会 員	1名
出 席 計 算 会 員	65名
出 席 会 員	35名
欠 席 会 員	30名
出 席 率	53.85%

欠席会員名 新本、中村（聡）、新垣（豊）、与儀、平良、鈴木（康）、新里、長嶺、許田、津嘉山、国吉、具志堅、渡辺、下石、新垣（安）、中村（英）、宜保、白石、上原（修）、米須、赤嶺、下地、義元、佐藤、古江、首藤、新垣（直）、桂原、石嶺、山内。

MAKE-UP 新本<東京東江戸川RC創立50周年/東京江東>新本、安里（政）、亀川（偉）、河井<青少年帰国学生報告会>

MAKE-UP 津嘉山<石垣>

ゲスト・スピーカー

松平 好人 氏（琉球大学国際地域創造学部 准教授）

☆プログラム 9月19日（火）
「イニシエーションスピーチ」
（株）ロワジール・ホテルズ沖縄 総支配人
武田 寛枝 会員
9月26日（火）
「イニシエーションスピーチ」
日本銀行那覇支店 支店長
小島 亮太 会員
10月3日（火）「演題未定」
株式会社 Sustaina BASE 代表 田名 真之 氏
10月10日（火）「オープン例会：演題未定」
琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社
代表取締役会長 早川 周作 氏

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3警察-6-1（パシフィックホテル沖縄1階） TEL 868-1224 FAX 861-4918
E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス : <http://naha-rc.org/>
会長 亀川 偉作 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 伊志嶺 匡 副会長/クラブカウンセラー 上原 義信
幹事 保田盛 清士 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 新垣 淑豊 委員 与儀 達樹

■ニコニコ BOX (*^^*)v



お父さん
お誕生日おめでとう
ございます。

亀川 榮一 パスト会長 誕生日祝い有難う
ございました。ニコニコ。

長山 宏 会員 7月の誕生日祝い、ありが
とうございました。

■2023-24年度ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX ¥4,000

ニコニコ BOX 累計 ¥142,000

■幹事報告 保田盛 清士 幹事

*他クラブ例会休会・変更

・宜野湾 RC

*オープン例会へのご招待先がまだ頂
けておりませんので、よろしくお願
い致します。FAX お待ち致します。

*「来日学生・派遣予定学生合同オリ
エンテーション」のお知らせ

日時：10月5日(木) 17:30~19:30

地区青少年交換来日学生ディアナさん、
河井耕治地区青少年交換委員が ZOOM で
参加致します。

*本日も11/21(火) 沖縄分区 IM 参加
者を募ります。回覧致しますのでご出
席される会員は各自でご記入下さい。

■ポール・ハリス語録

“過ぎし時に敬意を表して”

「世界は絶えず変化しています。そし
て私たちは世界とともに変化する心構
えがなければなりません。ロータリー
の物語は何度も何度も書き替えられな
ければならないでしょう」(1935年)

■ポール・ハリス・フェロー表彰



松元会員・堀川会員、ロータリー財団へ
のご協力ありがとうございます。

■会長報告

亀川 偉作 会長

*本日は、ロータリーの友 9月号から「ロー
タリー希望の風奨学金」の記事をご紹介した
と思います。当理事会では今年度も会員 1
人当たり¥3,000 の寄付を行う事を決定しまし
た。ロータリーの友には寄付金がどのように
使われているのか、奨学金を受けている学生
からのコメント等が掲載されております。

是非、ご一読下さい。

■理事会報告

①オープン例会について

・10/10(火) 12:30~開催。卓話は琉球アス
ティードスポーツクラブ株式会社 代表取締役
会長 早川 周作 氏。会員へはご招待する方を
事務局まで9/19(火)までにご連絡頂く。

②那覇市長杯野球大会への支援について

・継続審議

③愛隣園バザーの件

・物品提供は時間的に無理なのでお祝儀五万
円を当間社会奉仕委員長がお届けする。

④クラブ創立 65 周年について

・分担金 25,000 円とする。記念誌は印刷物は
作成せず。ホームページ掲載とする。ご案内
先：パストガバナー/名誉会員/分区内会長・
幹事/パスト会長/JICA 国際センター所長 他

■9月は基本的教育と識字率の向上月間 (Basic Education and Literacy Month)

低い識字率を回復し、子どもたちが学校に通えるようにするためのグアテマラのプロジェクト

By Diana Schoberg Photography by James Rodríguez

今年4月、国際ロータリーのジュニファー・ジョーンズ会長がグアテマラ高地の農村にあ
る小学校を訪れたときのこと、「この国の大統領になりたい人は誰？」と尋ねると、生徒た
ちの手が一斉に上がりました。ロータリーが支援する読書プログラムが村で始まる前は、生
徒たちが2、3年で退学してしまうことがよくあったそうです。

「読書は私たちの社会を変えるでしょう。読書は無知を克服するための強力な手段です」
と、校長のヴィルマ・ニゼス・モレイラさんは話します。学校では通常スペイン語で授業が
行われますが、グアテマラでは約25の言語が話されており、それらの地域的な言語で書か
れた教材はほとんどありません。グアテマラ識字プロジェクトは25年にわたり、読書率の
向上に取り組んできました。オハイオ州出身の兄弟、ジョー・バーニンガーさん(パスウェ
イズ・ロータリークラブ会員)とジェフ・バーニンガーさんは、1997年、図書がないグア
テマラの学校で英語教師としてボランティア活動をしていました。二人は、それを解決する
為のプロジェクトを立ち上げたのです。本が届いた日には盛大なお祝いが行われました。近
くでボランティアをしていた歯科医のロータリアンが騒ぎを聞きつけ、何かを尋ねまし
た。事態を知った彼は、「ロータリーにぴったりのプロジェクトだ」と言ってくれたそうで
す。グアテマラのロータリアンは、ほかの学校での読書プログラムも支援しており、1997
年以来、ロータリー財団は48件、総額650万ドルの補助金を識字率向上のために提供して
きました。これまでに90地区、800近くのクラブが参加しており、多クラブ、多地区合同
の草の根プロジェクトとしては、ロータリーで最大級のものとなっています。この活動は、
米国の非営利団体「Cooperative for Education」からも支援を受けています。「ロータリー
の推進力と熱意があればこそ」と話すのは、Cooperative for Educationのパートナー開発
担当ディレクターで、パスウェイズ・ロータリークラブの会員でもあるハワード・ロブさん
です。最初の教科書プロジェクトから、コンピューター室の設置、奨学金、書籍の提供、教
師研修など、活動は広がっています。学生は教科書のレンタル料を支払い、そのお金は回転
資金に回され5年後に教科書を交換するために使われます。「ロータリーの寄付が種とな
り、学校は自分たちで貯めたお金で教科書を買換えることができます」とロブさん。村の
学校のモレイラ校長は、奨学金で大学に進学した元生徒を振り返ります。その生徒は、ノー
ベル賞を受賞したパキスタンの活動家、マララ・ユサフザイさんについての本を読んだそう
です。「現在、この生徒はマララさんのように大きく成長することを望んでいます」と彼女
は言う。「読書が彼女の人生を変えたのです」。